



通牒

鐵士第一號

昭和十五年三月一日

內務省土木局長
內務省計畫局長

各土木出張所長
各地方長官 殿

道路ト國有鐵道トノ平面交叉除却ニ關スル件

依命通牒

標記ノ件ニ關シ鐵道、內務兩省間ニ今般別紙寫ノ通協定成

立候條右ニ御了知相成度

追テ貴管内關係ノ向ヘモ可然移牒相成度

道路ト鐵道トノ交叉方式竝ニ費用分擔ニ關ス

ル內務、鐵道兩省協定

一、交叉新設ノ場合

(一) 國道及幅員一一米以上ノ街路ト鐵道トノ交叉又新設スル場合ハ特殊ノ事由アルモノヲ除キ之ヲ立體交叉ト爲スモノトス

註 特殊ノ事由アルモノトハ次ノ如キ場合ヲ謂フ

(イ) 鐵道ガ臨港線、市場線又ハ側線等ニシテ立體交叉ト爲スコト極メテ困難ナル場合

(ロ) 停車場ニ近接セル道路ニシテ立體交叉ト爲スコト極メテ困難ナル場合

(ハ) 道路若ハ鐵道ノ路線ガ將來變更ヲ豫想セラルルガ如キ場合

(二) 指定府縣道及特殊ノ事情アル道路ト鐵道トノ交叉ヲ新設スル場合ハ前號ニ準ズルモノトス、但シ指定府縣道ニ在リテハ道路ノ狀況其ノ他ノ事由ニ依リ本項第

三號ノ扱ヒニ依ルコトヲ得

註 特殊ノ事情アル道路トハ次ノ如キモノヲ謂フ

(イ) 重要ナル飛行場ニ達スル主要ト認メラルル連絡道路

(ロ) 軍事上特ニ重要ト認メラルル道路

(ハ) 見透不良ニシテ極メテ危険ナル状態ニ在ル道路

(三) 前各號以外ノ道路ニシテ重要ト認メラルルモノト

鐵道トノ交叉ヲ新設スル場合ニ在リテハ成ルベク之ヲ

立體交叉ト爲スモノトス、但シ該交叉ヲ立體交叉ト爲

スニ要スル工事費ガ別表ノ費額ヨリ大ナルモノハ特殊

ノ場合ヲ除キ之ヲ平面交叉ト爲スコトヲ得

(四) 新ニ交叉ヲ設置スル場合ハ當該工事計畫者ニ於テ

交叉ニ要スル工事費ノ全額ヲ負擔スルモノトス

(五) 前各號ヲ適用スベキ道路及鐵道ハ次ノ範圍トス

(イ) 既設ノ道路及鐵道

(ロ) 實施年度並ニ設計ノ確定セル道路及鐵道

例 選定伺ノ決裁セラレタル鐵道線路又ハ都市計畫

事業街路ノ如キモノ

二、既設平面交叉ヲ除却ノ場合

(一) 既設平面交叉ヲ除却スル場合ハ道路側ト鐵道側ト

ハ各其ノ工事費ノ半額ヲ負擔スルモノトス

(二) 道路付替ノ場合ニ在リテ踏切ヲ廢止スルニ至ラザ

ルトキハ殘存踏切ニ要スル經費ノ元金ニ相當スル金額

ヲ鐵道側負擔金額中ヨリ差引クモノトス、但シ鐵道側

ノ分擔額ハ工事費ノ四分ノ一ヲ下ラザルモノトス

(三) 既設平面交叉ヲ鐵道線路増設ニ伴ヒ除却スル場合

ニ在リテハ總工事費ヲ次式ニ依リ分割シ交叉新設工事

費ニ就テハ第一項第四號、既設平面交叉除却工事費ニ

就テハ本項第一號ノ扱ヒニ依ルモノトス

道路幅員擴張ノ場合ニ在リテハ本號ヲ準用スルモノト

ス

$$\text{交叉新設工事費} = \text{總工事費} \times \frac{A}{A+B}$$

$$\text{既設平面交叉除却工事費} = \text{總工事費} \times \frac{B}{A+B}$$

A 新設軌道敷 B 既設軌道敷

Q×N	構		内		外	
	0.10	0.15	0.10	0.15	0.10	0.15
500,000	1,000,000	1,175,000	1,125,000	1,000,000	1,125,000	1,300,000
400,000	700,000	900,000	850,000	700,000	850,000	1,000,000
300,000	600,000	750,000	700,000	600,000	700,000	800,000
200,000	500,000	600,000	550,000	500,000	550,000	650,000
150,000	400,000	500,000	450,000	400,000	450,000	550,000
100,000	300,000	400,000	350,000	300,000	350,000	450,000
50,000	200,000	300,000	250,000	200,000	250,000	350,000
20,000	100,000	150,000	120,000	100,000	120,000	150,000
10,000	50,000	75,000	60,000	50,000	60,000	75,000

備考

一、Qハ道路ノ一日平均換算交通員數、Nハ鐵道ノ一日平均列車回數ヲ表ハス

Q×Nノ値ガ本表ニ掲グルモノノ中間ニ在ル場合ハ插

法 命

入法ニ依リ算出ス

二、交通量ノ換算率ハ下記ニヨルモノトス

步行者……………一

自轉車……………二

牛馬、荷車、人力車……………三

牛馬車……………五

自動車、自動自轉車……………七

三、PハQ×Nノ年平均増加率ニシテ一般ニ〇、一五ト

シ増加率特ニ大ナリト認メラルル場合ハ〇、二〇特ニ

小ナリト認メラルル場合ハ〇、一〇トス

内務省鐵士第一號

昭和十五年三月一日 内務次官 大達 茂雄

鐵道次官 喜安健次郎殿

道路ト國有鐵道トノ平面交叉除却費ニ關スル件

本年一月十日工第四一九號ヲ以テ標記ノ件御協議相成候處異存無之候尙追書ノ件ニ關シテハ兩省關係官ヲ以テ連絡

協議會ヲ設置シ實施ニ當リ之ガ圓滑ナル運用ヲ期スルコト
ト致度連絡協議會ノ組織及協議事項等ニ付テハ別途御打合
致度申添候

商工省令第十三號

昭和十二年法律第九十二號第二條及第三條ノ規定ニ依リ
セメント配給統制規則左ノ通定ム

昭和十五年三月二日 商工大臣 藤原銀次郎

セメント配給統制規則

第一條 本則ニ於テセメントトハポルトランドセメントク
リンカー(白色セメントクリンカーヲ除ク)ポルトラン
ドセメント(白色セメントヲ除ク)及混合セメント(高
爐セメントヲ含ム)ヲ謂フ

第二條 セメントノ製造業者(以下製造業者ト稱ス)ハ其
ノ製造セントスルセメントノ月別工場別種類別製造豫定
數量ヲ豫メ商工大臣ニ届出ヅベシ之ヲ變更セントスルト
キ亦同ジ

商工大臣必要アリト認ムルトキハセメントノ製造豫定數
量ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

第三條 左ニ掲グルセメント製造設備ノ移轉、讓渡、貸與

若ハ使用ノ廢止ヲ爲シ又ハ當該設備ヲセメント以外ノ物
品ノ製造ニ使用セントスル者ハ商工大臣ノ許可ヲ受クベ
シ

一 原料粉末機

二 回轉窯

三 仕上粉末機

第四條 製造業者ハ商工大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ其
ノ製造ニ係ルセメントヲ使用スルコトヲ得ズ但シポルト
ランドセメント又ハ混合セメントノ製造ニポルトランド
セメントクリンカーヲ使用スル場合及一月ノ使用數量五
十噸ヲ超エザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 製造業者又ハセメントノ移入ヲ爲シタル者ハ其ノ
製造又ハ移入ニ係ルセメントヲ商工大臣ノ指定シタル者
(以下共販機關ト稱ス)以外ノ者ニ讓渡(本規則施行前

ニ爲シタル契約ニ依ル引渡ヲ含ム) スルコトヲ得ズ但シ
特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ
限ニ在ラズ

第六條 共販機關以外ノ者ハ製造業者又ハセメントノ移入
ヲ爲シタル者ヨリ其ノ製造又ハ移入ニ係ルセメントヲ讓
受クルコトヲ得ズ但シ前條但書ノ許可ヲ受ケ讓渡スルセ
メントヲ讓受クル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 セメントノ移入ヲ爲シタル者ハ商工大臣ノ許可ヲ
受クニ非ザレバ其ノ移入ニ係ルセメントヲ使用スルコト
ヲ得ズ

第八條 共販機關又ハセメントノ販賣業者(以下販賣業者
ト稱ス)ハ地方長官又ハ共販機關ニ於テ發行スルセメン
ト割當證明書(以下證明書ト稱ス)ト引換フルニ非ザレ
バセメントヲ讓渡(昭和十五年四月三十日以前ニ爲シタ
ル契約ニ依ル引渡ヲ含ム)スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グ
ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一、左ノ各號ノ一ニ該當スルセメントヲ讓渡スルトキ

イ、御料品

ロ、官廳用品

ハ、軍用品

ニ、輸出品(關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ輸出スル
モノヲ除ク)

二、販賣業者ニ讓渡スルトキ

三、一月ノ讓渡先別引渡數量一噸ヲ超エザル數量ノセメ
ントヲ讓渡スルトキ

四、天災事變其ノ他已ムヲ得ザル事由アリタルニ因リ證
明書ニ依ルコトヲ得ザルトキ

五、特別ノ事情ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ

第九條 セメントハ證明書ト引換フルニ非ザレバ共販機關
又ハ販賣業者ヨリ之ヲ讓受クルコトヲ得ズ但シ前條但書
ノ規定ニ依リ共販機關又ハ販賣業者ガ讓渡スルセメント
ヲ讓受クル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十條 地方長官又ハ共販機關ハ商工大臣ニ於テ用途別ニ
割當テタル數量ノ限度内ニ於テ證明書ヲ發行シ之ヲセメ

ントヲ使用スル者ニ交付スベシ

地方長官又ハ共販機關ハ前項ノ證明書ノ様式ニ付商工大

臣ノ承認ヲ受クベシ

第十一條 共販機關又ハ販賣業者ハセメントヲ使用スル者

ヨリ證明書ト引換ヘニセメントノ讓受ノ申込アリタルト
キハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第十二條 證明書ハ之ヲ他人ニ讓渡シ又ハ他人ヨリ讓受ク
ルコトヲ得ズ

證明書ト引換ヘ讓受ケタルセメントハ之ヲ他人ニ讓渡シ
又ハ他人ヨリ讓受クルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ
地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ。

第十三條 共販機關又ハ販賣業者ハ其ノ引換ヘタル證明書
ニ引換後遲滞ナク自己ノ氏名名稱及引換ノ年月日ヲ示ス
消印ヲ押捺スベシ

第十四條 販賣業者ハ其ノ引換ヘタル證明書ヲ引換ヘタル
日ヨリ十五日以内ニ之ヲ交付シタル地方長官又ハ共販機
關ニ提出スベシ

第十五條 共販機關又ハ販賣業者ハ帳簿ヲ備ヘ左ニ掲グル
事項ヲ記載スベシ

一、購入先ノ氏名名稱及住所、購入ノ年月日竝ニ購入シ

タルセメントノ種類別數量及價額

二、販賣先ノ氏名名稱及住所、販賣ノ年月日竝ニ販賣シ
タルセメントノ種類別數量及價額

三、毎月末ニ於ケルセメントノ種類別在庫數量

第十六條 製造業者ハ毎月十日迄ニ前月中ノセメントノ工

場別種類別ノ製造數量、販賣數量及使用數量竝ニ前月末

ニ於ケルセメントノ工場別種類別在庫數量ヲ商工大臣ニ

報告スベシ

第十七條 共販機關ハ毎月十日迄ニ前月中ノセメントノ種
類別ノ購入先別購入數量、道府縣別用途別販賣數量、移
出數量及移入數量ヲ商工大臣ニ報告スベシ

附 則

本則ハ昭和十五年三月十一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二條ノ
規定ハ昭和十五年四月一日ヨリ、第四條、第八條乃至第十

四條、第十六條及第十七條ノ規定ハ昭和十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

(參照) 昭和十二年九月十日公布 法律第九十二號ハ輸出入品等

ニ關スル臨時措置ニ關スル件ナリ

商工省告示第九十四號

價格等統制令第七條ノ規定ニ依リセメントノ販賣價格左ノ通指定ス

昭和十五年三月十一日

商工大臣 藤原銀次郎

(單位五〇斤入三層紙袋一袋)

品名	セメント共販株式會社 販賣價格	卸賣業者(セメント共販株式會社)ヨリ直接ニ購入シテ販賣スル者)販賣價格
普通ポルトランドセメント	一・二二	一・二六
混合セメント(高爐セメントヲ含ム)	一・二一	一・二六
早強ポルトランドセメント	一・四二	一・四七
ネオソリヂテツトセメント	一・九八	二・〇三

イ、本表價格ハ買主所在地ノ最寄驛貨車乗渡、最寄港船

乗渡又ハ最寄倉庫渡ノ價格トス

ロ、四層紙袋詰ノモノハ二錢上ゲトス

内務省告示第一號

大藏省告示第一號
市制町村制施行令第五十九條ノ二第二項第四號ノ規定ニ依リ市町村債及市町村債ノ償還方法ノ變更ヲ指定スルコト左ノ如シ

昭和十五年三月十八日

内務大臣 伯爵 兒玉秀雄

大藏大臣 櫻内幸雄

一、國庫ノ補助ニ基ク府縣ノ補助ヲ受ケ施行スル旱害對策事業ニ關スル費用ニ充ツル爲又ハ國庫ノ補助ヲ受ケ府縣ノ施行スル旱害對策事業ノ經費ヲ分擔スル目的ヲ以テ大藏省預金部ヨリ昭和十四年度災害關係資金ノ融通ヲ受クル市町村債

二、旱害ニ伴フ歲入欠陥補填ノ爲大藏省預金部ヨリ昭和十四年度災害關係資金ノ融通ヲ受クル市町村債

三、農村負債整理資金特別融通及損失補償法第一條又ハ從前ノ農村負債整理組合法第二十六條ノ規定ニ依ル特別融

通ノ資金ニ充ツル爲借入レタル市町村債ノ昭和十四年ノ
早害ニ因ル償還方法ノ變更

内務省令第一號
鐵道

大正十二年^{十二}月^{十二}日 内務省令軌道法施行規則中左ノ通改正ス
昭和十五年三月二十六日

内務大臣 伯爵 兒玉 秀雄
鐵道大臣 松野 鶴平

第十一條ニ左ノ一項ヲ加フ

第一項ノ認可申請書ニシテ運輸開始後ニ於ケル變更ニ關

スルモノハ同時ニ其ノ副本ヲ所管鐵道局長ニ提出スヘシ

第十七條第二項中「鐵道大臣及地方長官」ヲ「内務大臣、

鐵道大臣、地方長官及所管鐵道局長」ニ改ム

第二十二條ノ二 前四條ノ認可申請書ハ所管鐵道局長ヲ經

由スヘシ此ノ場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ地方長官ニ

提出スベシ

第二十三條中「前四條」ヲ「前五條」ニ改ム

第二十四條ノ二 前條ノ規定ニ依ル認可申請書ニ付テハ其

ノ副本ヲ所管鐵道局長ニ提出シ前二條ノ規定ニ依ル屆書

ニシテ鐵道大臣ニ提出スベキモノハ所管鐵道局長ヲ經由
シ之ヲ提出スベシ

第二十六條第一項中「及地方長官」ヲ、「地方長官及所管

鐵道局長」ニ、同條第二項中「鐵道大臣及地方長官」ヲ「地

方長官及所管鐵道局長」ニ改ム

第二十七條 地方鐵道法施行規則第三條、第八條、第十三

條、第十五條、第二十條、第二十一條第一項第二項、第

二十二條、第二十五條第一項本文第二項、第二十六條、

第三十條乃至第三十三條、第四十五條、第四十六條、第

四十八條乃至第四十九條、第五十一條乃至第五十六條ノ

規定ハ之ヲ軌道ニ準用ス但シ鐵道大臣トアルハ内務大臣

及鐵道大臣トシ第二十一條第一項但書及第二十五條第二

項但書中所管鐵道局長トアルハ地方長官トス

前項ニ於テ準用スル地方鐵道法施行規則第二十一條第一

項第二項及第二十五條第一項本文第二項但書ノ規定ニ依

リ申請書又ハ屆書ヲ提出スル場合ニハ同時ニ其ノ副本ヲ

所管鐵道局長ニ、第四十八條及第四十八條ノ二ノ規定ニ

依り届書ヲ提出スル場合ニハ同時ニ其ノ副本ヲ地方長官

ニ提出スベシ但シ第二十一條第一項第二項及第二十五條

第一項本文ノ場合ニ在リテハ運輸開始後ニ於ケルモノニ
限ル

地方鐵道法施行規則第十八條ノ規定ハ新設軌道ニ之ヲ準
用ス但シ所管鐵道局長トアルハ内務大臣、鐵道大臣及地
方長官トス前項ノ規定ニ依リ届書ヲ提出スル場合ニハ運
輸開始後ニ於ケルモノニ限り同時ニ其ノ副本ヲ所管鐵道
局長ニ提出スベシ

第二十九條中「申請書並届書ハ」ヲ「申請書並届書ニシテ
内務大臣又ハ鐵道大臣ニ提出スベキモノハ別段ノ定アル場
合ヲ除クノ外」ニ改ム

附 則

本令ハ昭和十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前内務大臣、鐵道大臣及地方長官ニ於テ受付ケタ
ル申請書及届書ニ付テハ仍従前ノ規定ニ依ルコトヲ得

〔参照〕

大正十二年十二月二十日内務省令軌道法施行規則

抄録

第十一條第一項

工事施行ノ認可ヲ受ケタル後線路ヲ變更セムトスルト
キハ第八條ノ規定ニ準シ線路實測圖(新舊對照圖添附)
ヲ、工事方法書ノ記載事項ヲ變更セムトスルトキハ第
九條ノ規定ニ準シ變更セムトスル事項ニ關スル工事方
法書(停留場ノ變更ニ在リテハ新舊對照圖添附)ヲ作
製シ其ノ事由ヲ具シ内務大臣及鐵道大臣ノ認可ヲ受ク
ベシ

第十七條第二項

軌道經營者運輸ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ
鐵道大臣及地方長官ニ届出ツベシ

第二十三條 前四條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル運賃又

ハ料金ヲ實施シタルトキハ遲滯ナク其ノ月日ヲ鐵道大
臣及地方長官ニ届出ツベシ

第二十六條 車輛ノ衝突、顛覆其ノ他旅客ニ死傷ヲ生シ

タル重大ナル運轉事故ハ即時電信、電話又ハ口頭ヲ以テ内務大臣、鐵道大臣及地方長官ニ報告スルノ外七日以内ニ第九號様式ニ依リ内務大臣、鐵道大臣及地方長官ニ之ヲ届出ツベシ

前項以外ノ事故ハ一月分ヲ取纏メ翌月十五日限り第十

號様式ニ依リ鐵道大臣及地方長官ニ之ヲ届出ツベシ

第二十七條 地方鐵道法施行規則第三條、第八條、第十三條、第十五條、第二十條、第二十一條、第二十五條

第一項第二項、第二十六條乃至第三十三條、第四十五條、第四十六條、第四十八條、第四十九條、第五十一條乃至第五十六條ノ規定ハ之ヲ軌道ニ準用ス但シ監督

官廳トアルハ内務大臣及鐵道大臣トス

地方鐵道法施行規則第十八條ノ規定ハ新設軌道ニ之ヲ準用ス但シ監督官廳トアルハ内務大臣、鐵道大臣及地方長官トス

第二十九條第一項

軌道法又ハ本令ノ規定ニ依ル特許、許可及認可申請書

並届書ハ軌道ヲ敷設スル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スベシ但シ二府縣以上ニ互リ敷設スル軌道ニ在リテハ事件ガ二府縣以上ニ關スル場合ニ限り其ノ起點所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スベシ

内務省令第二號
鐵道

大正十二年^{十二}月^{十二} 内務省令軌道法第二十五條ノ規定ニ依リ職權委任ニ關スル件中左ノ通改正ス

昭和十五年三月二十六日

内務大臣伯爵 兒玉秀雄

鐵道大臣 松野鶴平

第三條 人力又ハ馬力ヲ動力トセサル軌道ニ關スル事項ニシテ左ニ掲グルモノハ之ヲ鐵道局長ニ委任ス

一 運賃ノ臨時割引

二 運輸ニ關スル料金ノ變更

前項ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ運賃及料金ヲ具シ其ノ處分ノ月日ヲ鐵道大臣ニ報告スベシ

附 則

本令ハ昭和十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前鐵道大臣又ハ地方長官ニ於テ受付ケタル申請書ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

鐵道省令第一號
內務省令第一號

昭和十三年八月鐵道省令第一號陸上交通事業調整法施行規則中左ノ通改正ス

昭和十五年三月二十六日

鐵道大臣 松野鶴平

內務大臣伯爵 兒玉秀雄

第五條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ規定ハ地方長官又ハ鐵道局長ノ許可又ハ認可ヲ受クベキ事項ニ之ヲ適用セズ

第二十三條第三項中「最寄ノ地方駐在ノ鐵道省陸運監理官」

ヲ「所管鐵道局長」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

昭和十三年八月鐵道省令第一號陸上交通事業調整法施行規則抄錄

業調整法施行規則抄錄

第五條 前四條ニ規定スル協定ノ認可申請ニ伴ヒ之ト同時ニ左ニ掲グル事項ニ付許可又ハ認可ノ申請ヲ爲サントスルトキハ地方鐵道法、軌道法、自動車交通事業法又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ規定スル書類又ハ圖面ヲ協定ノ認可申請書ニ添附スベシ

(左記略ス)

第二十三條第一項及第三項

本令ノ規定ニ依リ提出スベキ申請書其ノ他ノ書類ハ地方鐵道若ハ軌道又ハ自動車運輸事業ノ線路ノ所在地ヲ管轄スル地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監又ハ東京府知事トス)ヲ經由スベシ但シニ府縣以上ニ跨ルモノニ在リテハ事件ガ二府縣以上ニ關スル場合ニ限り其ノ起點ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スベシ

第一項ノ規定ニ依リ申請書其ノ他ノ書類ヲ提出スルト
キハ同時ニ其ノ副本ヲ最寄ノ地方駐在ノ鐵道省陸運監
理官ニ提出スベシ

記

監雜第四六六號

昭和十五年四月一日

兩 局 長

地方官宛 (連名各通)
鐵道局長

依命通牒

軌道法施行規則及同法第二十五條ニ依ル職權

委任ニ關スル省令改正ニ伴フ事務取扱ニ關ス

ル件

昭和十五年三月二十六日軌道法施行規則及同法第二十五條
ニ依ル職權委任ニ關スル省令ノ改正ニ依リ鐵道局長ハ軌道
監督行政事務ノ一部ヲ分掌スルコトト相成候條今後地方長
官及鐵道局長ニ於テ關係事項ノ處理ニ當リテハ左記事項諒
承ノ上軌道監督行政上效果アル實績ヲ擧ゲラルル様相互ニ

協力相成度尙本件ニ關シテハ軌道專業者ニ對シテモ必要事
項ニ付別紙ノ通依命通牒致置候了知有之度

地方長官ニ於テ履行スベキ事項

一、軌道法施行規則第十七條第一項ノ處分ニ付テハ鐵道局
長ニ通知スルコト

二、同第十九條乃至第二十二條第一項ノ中大正十二年十二
月二十日發甲第一一號土木局長通牒ニ依ル指定都市ニ於
クルモノニ付テハ意見ヲ附シ副本ヲ内務大臣ニ進達スル
コト (從來通)

右ノ中指定都市以外ノモノニ付テハ意見ヲ鐵道大臣ニ提
出スルコト

三、同第二十三條及第二十四條第三項ノ届出中指定都市ニ
於ケルモノニ付テハ内務大臣ニ報告スルコト (從來通)
四、同第二十七條ニ依ル準用規定中地方鐵道法施行規則第
二十一條第一項但書及第二十五條第二項但書ノ届出ニ付
テハ其ノ副本ヲ添付シ内務、鐵道兩大臣ニ報告スルコト

五、職權委任ニ關スル省令第一條中運輸開始及其ノ後ニ關

スル事項並ニ第二條第一項第一號中運輸開始後ニ關スル
事項及第二號ノ處分ニ付テハ所管鐵道局長ニ通知スルコ

鐵道局長ニ於テ履行スベキ事項

一、軌道法施行規則第二十六條第二項ノ届出ニ付テハ地方
鐵道ニ於ケル場合ト同様鐵道大臣ニ報告スルコト

二、同第二十七條ニ依ル準用規定中地方鐵道法施行規則第
四十八條及第四十八條ノ二ノ届出ニ付テハ各其ノ副本ヲ

添附シ内務、鐵道兩大臣ニ報告スルコト

三、職權委任ニ關スル省令第三條第一項第一號及第二號ノ
處分ニ付テハ關係地方長官ニ通知スルコト

監雜第四六六號

昭和十五年四月一日

依命通牒

軌道法施行規則及職權委任ニ關スル省令改正
ニ伴フ書類提出方ニ關スル件

昭和十五年三月二十六日軌道法施行規則及同法第二十五條
ニ依ル職權委任ニ關スル省令改正ニ依リ鐵道局長ニ於テモ
軌道ニ關スル監督行政事務ノ一部ヲ分掌スルコトト相成候
處右ニ付テハ關係官廳間ニ於テ事務處理上ノ緊密ナル連絡
ヲ計ル必要有之候爲今般書類ノ提出方ニ關シ左記事項ヲ補
足致候條諒承ノ上今後ノ手續ニ際シ書類ノ作製並ニ提出ニ
當リテハ法規ト共ニ該補足事項ヲモ照合セラレ萬遺憾ナキ
ヲ期セラレ度

記

一、軌道法施行規則第十七條第一項ノ申請ニ付テハ其ノ副
本ヲ鐵道局長ニ提出スルコト

二、同第二十八條ノ申請中内務大臣ニ提出ノ分ニハ政府所
屬ノ車輛ニ付テモ車種、輛數、自重、定員、積載容積及
荷重、最大寸法、固定輪軸距及ボギ中心間距離ヲ記載

各軌道事業者宛

兩 局 長

スルコト

地方鐵道法施行規則第二十條ノ申請ニシテ運輸開始後ニ於ケルモノニ付テハ其ノ副本ヲ鐵道局長ニ提出スルコト但此ノ場合ニ限り副本ニハ圖面添附ヲ要セス

三、同第二十七條ニ依ル準用規定中地方鐵道法施行規則第二十二條ノ屈出ニ付テハ其ノ副本ヲ鐵道局長ニ提出スルコト

四、同準用規定中地方鐵道法施行規則第三十條及第三十二條ノ申請ニ付テハ各其ノ副本ヲ鐵道局長ニ提出スルコト

五、職權委任ニ關スル省令第一項中運輸開始及其ノ後ニ關スル事項及第二條第一項第一號中運輸開始後ニ關スル事項ノ申請ニ付テハ各其ノ副本ヲ鐵道局長ニ提出スルコト

六、同第三條第一項第一號ノ申請及屈出、第二號ノ申請ニ付テハ各其ノ副本ヲ地方長官ニ提出スルコト

內務省令第一〇號

大正十二年十二月內務省令第四十五號軌道法第一條第二

項ノ規定ニ依ル一般交通ノ用ニ供セサル軌道ニ關スル件
中左ノ通改正ス

昭和十五年四月一日

內務大臣伯爵 兒玉秀雄

第四條中「監督官廳」ヲ「鐵道大臣又ハ所管鐵道局長」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

